

みどりの風

令和3年1月27日（水） 発行人：校長 角田 亮明

緑の誓い

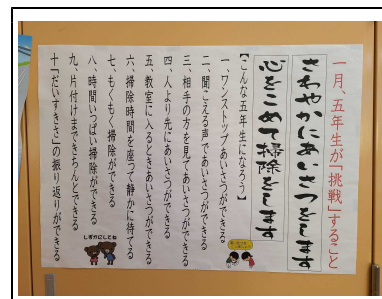
- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

「緑の誓い」の実現に向けて！！

短い3学期は「まとめ」の学期であり、結果を出す学期です。緑丘小の大目標は「緑の誓い」を実現すること。その実現に向けて全学年が取組内容を焦点化し、実践強度を高めて進んでいます。各学年の教室前廊下には「学年の具体目標」が掲示され、達成状況を短サイクルで評価しながら共通実践を重ねています。そして、結果が表れ始めています。

特に、明らかに変化、成長したのが「登校時の校門でのあいさつ」です。3学期は、子ども達一人一人が成長を実感できるように、重点場面を「朝の校門」に置いて取り組んでいます。その成果が表れ始めています。相手に届く大きな声であいさつするのはもちろん、一度立ち止まっておじきをしながらの「ワンストップあいさつ」が習慣づいてきました。右からも左からも、横断歩道の向こう側からも、元気で丁寧なあいさつが届くので、応えるのに大変です。毎朝、一緒に立ってくださる地域の大窄さんも成長を感じており、自然と笑顔になります。校門できちんとあいさつできるようになると、不思議なことに室内でのあいさつにも変化が。廊下ですれ違う度に互いの元気なあいさつが交じり合います。心と心がぐっと近づいたような感じがします。子ども達のあいさつ力がますます高まるように、家庭内あいさつ運動も是非お願いします。

一点突破・全面展開。一つのことを成し遂げることで、その効果が他にも広がる。まさにそういう雰囲気生まれつつあります。主体的な学び、もくもく掃除、きまりを守る、仲良くする……。修了式までにしっかり育てて、次の学年に送るつもりです。



英語科の学習のようす：6年生の授業から

先日お伝えした英語教育「プロジェクトG」の研修の一環として、1月26日（火）の5校時、6年生の英語科授業が公開されました。本来は、市内小・中学校の英語担当教師が一堂に会して研修を深める予定でしたが、コロナ禍のため規模を縮小しての研修となりました。教育委員会から担当の指導主事とALT指導員が来校して参観し、授業の様子を詳細に報告して共有化するという形式です。単元名は「What do you want to be?」将来の夢について語り合い、反応し合う学習です。

まずは心の準備運動：スモールトークです。指導の野口先生が食べたい物や行きたい国、子どもの頃の夢を話し、それが誰のことを指しているのか当てる活動や、ペアで行きたい国について尋ね合う活動で心がほぐれた子ども達は、本時のめあて：将来就きたい職業について尋ね合うことにチャレンジします。カード交換ゲームで互いに語り合う子ども達。発音もなかなかのものです。グローバルな人材が確実に育っています。

